

# 平成29年度 恩田学園評価結果

恩田幼稚園

## 1、園の教育目標

『教育の基本は体力と笑顔から』を常に心掛け、園庭でのマラソンや、リラックスした雰囲気の中で、基本的な生活習慣を身につけられるように、家庭との連携を深めています。

当園では自然を模倣した、アスレチック・広い砂場・鉄棒・跳び箱・竹馬・一輪車・縄跳び・いろいろな遊びの中、園児自身が主体となり教員はそれをサポートし、自由な発想で保育を行っています。

自由な遊びの中でルールを子供同士が作り、それをひとつひとつ守っていくことで協調性・自立性が生まれてくれればと願っています。

「遊び」の中に小学校に上がってからの学習の基本があると考えています。

教員は担当クラスのみではなく全園児を把握できるように常に情報交換を行うように心掛けています。

本園での目標  
 相手の立場に立って考えることのできる・・・やさしい心  
 強いからだと何事にもくじけない・・・たくましい心  
 いろいろな事柄に感動し、自分で正しく的確に判断し、行動しうるような・・・ゆたかな心

## 2、本年度に重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基にした学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って、自己評価を実践することにより、保育士が客観的に自園を見る目を養う。  
 教育内容の改善を主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	教育要領・教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもに実態に即した内容にするように努めている。
2	子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てをとる。	保育士は日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、日案の作成に反映させている。
3	子どものよさを認めて評価しようとしている。	保育士は一人ひとりの長所を認め、また、その一人に摂りの長所の発展を目指す保育に努めている。
4	遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自分で工夫して遊び、それが発展して友達と協力して遊べる環境を準備している。
5	規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	登園から降園までの一日の流れのなかで、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。また、家庭での事に関しては、各保育士が保護者との連携の中で出来るだけ情報を提供していただき把握している。
6	各研修会や研究会に積極的に参加して保育士に資料提供をする。	各研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会議などにおいて提供し、共有化を図るようにしている。

## 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

A=良い B=普通 C=悪い

結果	理由
B	昨年と同様に保育士一人ひとりが学校評価の主旨を理解し、各自適切に、自己評価に取り組んでいる様子が見られたが昨年の反省の更なる課題の向上までは達していないため少しでも新たな教育などを取り入れ保育者が新鮮な気持ちで教育していけるように実践したい。

## 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
自己評価	基本の項目を日々達成することに目が行き、1カ月、1年と長い目線で各行事もふまえながら教育が出来るようにしていきたい。また園児一人ひとりの教育を怠ることなく現状を低下させることなく向上させていきたい
健康と安全への配慮	園内の危険な箇所はないか、危険な遊びはしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方や対応を考える。 健康面では、園内にアルコール消毒液を配置し、外遊び後・給食前などには手洗い、うがいをするように促している。 また、アレルギー対策に関してさまざまなパターンがあるため対象者には細かな配慮を行っている。